

陳漢聲



《スーパー田の神》2025年 作家蔵

劉星佑

《私の父と母-農家から学ぶ、デコポン》
※ いずれも 2025年 作家蔵

アーティスト・イン・レジデンスつなぎ2025成果展

おたまの中の水はどのくらい?

走路草農藝團 陳漢聲 & 劉星佑 デュアル個展

12月6日開幕

ゾウルーツァウノンイートワン チェン・ハンシェン リュウ・シンヨウ
走路草農藝團 陳漢聲 & 劉星佑

展覧会の趣旨

陳漢聲と劉星佑から成る台湾のアートユニット「走路草農藝團」は、8月から11月にかけて「アーティスト・イン・レジデンスつなぎ2025」の招聘作家として、津奈木町や近隣地域を中心とした熊本の風土や信仰、生態系と人の営みなどについてリサーチを重ね、新たな制作に取り組みました。台湾の半導体企業の進出により、従来の農業と最新テクノロジー産業の共生を模索する熊本の現況は、すでに両者が交錯し、経済的に発展しながらもさまざまな課題を抱える陳と劉の故郷であり活動の拠点でもある高雄の状況と重なりました。急速な社会の変化にともない、国境を越えた経験と英知が求められる中、陳と劉が津奈木町で生み出した数々の作品は、限られた資源の分配、伝統的な信仰や価値観の変容、不可逆的な生態系の喪失といったテーマに私たちがどのように向き合うべきかをユーモアを交えながら静かに問いかけます。「アーティスト・イン・レジデンスつなぎ2025」の成果展である本展は、「走路草農藝團」としての作品展、陳の個展、劉の個展の三部構成となっており、いずれも津奈木町滞在中に制作した新作を展示します。

アーティストプロフィール

走路草農藝團 (ゾウルーツァウノンイートワン) / アートユニット

2014年に結成された、陳漢聲と劉星佑から成る台湾のアートユニット。自然環境や農業をテーマとして台湾を拠点に活動しており、近年では、都市の変化やジェンダー問題にも関心を寄せている。

陳漢聲 (チェン・ハンシェン) / アーティスト

1988年、台湾高雄生まれ。走路草農藝團キュレーター。自然と人間の共存をテーマに、自身の体験とアイデンティティを融合させた実験的なアニメーションや、ミクストメディアによるキネティックなインсталレーションは、台湾内外で高い評価を得ている。

劉星佑 (リュウ・シンヨウ) / アーティスト

1985年、台湾高雄生まれ。家族という私的な関係を通して、ジェンダーやセクシャリティーに関する社会的規範に問い合わせを投げかけ、自身のみならず困難に直面する人々にユーモアをもってエールを送る、代表作「我的父親母親」シリーズに、2010年から取り組んでいる。

展覧会名 おたまの中の水はどのくらい?

展覧会期 2025年12月6日(土)~2026年2月23日(月・祝)

展覧会場 つなぎ美術館 1・3階展示室

展示物 写真・インスタレーションなど 計43点

観覧料 一般:500円(450円) 高校・大学生:400円(350円)
小・中学生:300円(250円)※()内は20名以上の団体料金

【無料】関連イベント：オープニングトーク

日 時: 2025年12月6日(土) 14:00~15:30 ※ 終了しました

ゲスト: 謝宇婷 (インデペンデントキュレーター)

走路草農藝團 陳漢聲 & 劉星佑

会 場: つなぎ美術館 1階アトリエ ※30名 当日先着順

主催 つなぎ美術館 (津奈木町)

観覧時間 10:00 ~ 17:00 (入館は 16:30まで)

休館日 水曜日 (祝日の場合は翌平日) ※2/11(水・祝)は開館し、2/12(木)は休館

問い合わせ つなぎ美術館 熊本県葦北郡津奈木町岩城 494 TEL: 0966-61-2222

企画: 楠本智郎 t.kusumoto@tsunagi-art.jp 広報: 桜場啓子・山内 充 press@tsunagi-art.jp



www.tsunagi-art.jp